

環境ビジョン 3

交流と教育・文化のまち

わたしたちは、自然、歴史・文化資源を活かした魅力的な「新城らしさ」あふれる『交流と教育・文化のまち』を創造し、将来世代に引き継いでいきます。

1 環境教育

●拠点づくり

【環境教育拠点の整備】

地球温暖化や廃棄物などに見られる環境問題は、人のライフスタイルと密接に関わっています。こうした問題の解決のためには、現在の大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄を基調にした高負荷なライフスタイルを、極力環境への負荷の少ないものへ速やかに変革していくことが必要です。

それには、一人ひとりが、それぞれの日常行動が環境にどのような影響を与えているか、また、そのことが自分たちの生活や将来の世代にどのような影響を及ぼすかなど、人と人を取り巻く環境との相互作用について理解し、行動に結びつけていけるような環境教育の拠点の整備が重要な要素となります。

本市では、鳳来寺山参道の門前にある「鳳来寺山自然科学博物館」が環境教育の場として挙げられます。「足下の気づき」から地域を知る → 何をすべきか考える → 実際に行動するというコンセプトの下でさまざまな講座、展示が行われています。

《鳳来寺山自然科学博物館の主な取り組み》

鳳来寺山を中心とした奥三河の自然に関する展示と、足元の自然をテーマにした特別展や、野外学習会、子ども向け自然講座、ジオツアーなどの活動を活発に行っています。

また、博物館友の会があり、市内はもとより県内外に多くの会員がいて博物館を活用しています。会員の有志によるボランティアグループ「博物館協力隊」(子どもから大人まで 28 名が登録) が結成され、博物館

主催で開催する野外学習などの補助や環境整備活動、資料整理などを行うとともに、友の会主催の自然観察会などの講師なども努めています。郷土の自然について調査、展示、教育普及、資料収集するといった、さまざまな博物館活動を市民ボランティアとともに力をあわせて推進しています。



「特別展 きのこ展」

◇特別展（令和元年度実績）

実施日	テ ー マ
7月1日（月）～ 8月31日（土）	教科書と自然 -足元の自然が教えてくれるもの-
9月15日（日）～10月22日（火）	きのこ展
11月2日（土）～ 3月30日（月）	奥三河の滝展

◇野外学習会（令和元年度実績）

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
4月28日（日）	風切山-里地・里山の新緑-	36人	新城市日吉
5月26日（日）	モリアオガエルと表参道の生きもの	36人	新城市門谷
6月2日（日）	岩屋観音の地形観察と動物園	16人	豊橋市内
7月28日（日）	鳳来寺山音為川の生きもの	中止	新城市門谷
10月13日（日）	桜淵のきのこ	27人	新城市庭野
11月3日（日）	川原の様子と地形観察	20人	新城市～豊川市
11月17日（日）	朝霧湖周辺の紅葉	32人	新城市大島
12月1日（日）	豊川中流域の基盤岩	16人	新城市内
1月19日（日）	野鳥と虫の冬越し	33人	新城市庭野

◇ジオツアー（令和元年度実績）

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
7月7日（日）	豊川のつくる地形と舟運	20人	新城市～豊橋市
10月6日（日）	田口鉄道敷から見える地形と地質	22人	新城市～設楽町
12月8日（日）	新城の滝めぐり	20人	新城市内
2月8日（土）	V字谷を北上するジオの旅	39人	新城市～浦川

◇シンポジウム（令和元年度実績）

実施日	テ ー マ	参加数	開催場所
11月9日（土）	奥三河の大地と花祭	27人	東栄町グリーンハウス

【農村環境整備活動への支援】

市では、農地の保全、開水路・農道等施設の適正な管理保全による長寿命化とともに農村環境を保全する効果の高い取り組みを行う活動組織を支援しています。

現在、市内24地区で農地保全のための活動が行われ、そのうち13地区においては生態系保全のための実践活動も行われています。

◇活動状況

No.	地区名	活動組織名	主な活動
1	片山	片山地域環境保全隊	生物の生息状況の把握
2	牛倉	牛倉地域環境保全隊	生物の生息状況の把握
3	石田	石田の地域環境を守る会	生物の生息状況の把握、希少種の監視、 外来種の駆除
4	杉山	杉山の環境を守る会	生物の生息状況の把握、外来種の駆除
5	八名井	八名井農地・水・環境保全会	生物の生息状況の把握
6	豊島	豊島環境保全会	生物の生息状況の把握
7	稲木	農地水環境稲木	生物の生息状況の把握
8	野田 中市場	野田・中市場の「農地・水・ 環境」を守る会	外来種の駆除
9	只持	只持環境保全隊	生物の生息状況の把握
10	布里	布里農地・水環境保全隊	生物の生息状況の把握
11	作手黒瀬	黒瀬美土里会	生物多様性に配慮した施設の適正管理
12	作手菅沼	菅沼を良くしまい会	生物の生息状況の把握
13	作手清岳	市場の環境を守る会	生物の生息状況の把握

●環境教育・学習

市では、身近な自然の様子から地球温暖化といったグローバルな環境問題にいたるまで、ニーズに応えた環境学習を実施しています。

《親と子の走る環境教室》

親と子の「走る環境教室」は、夏休み中の市内の小学生とその保護者を対象に参加者を募集し、マイクロバスなどを使って、市内外のリサイクル工場や環境関連施設の見学や勉強会を通じ、環境問題に対して理解を深め、その対策について親子で考えるものです。

令和元年度は、市内の企業である横浜ゴム新城工場を見学し、環境に関するさまざまな取組を学びました。また、鳳来寺山自然科学博物館でコノハズクやモリアオガエルなど市に生息する生き物を見学し、地域の生態系についても学びました。

◆8月6日（火） 参加者数 児童7名 保護者4名

◇親と子の走る環境教室の開催状況（過去5年間）

年度	見学先
H27	愛・地球博記念公園 モリコロパーク（長久手市）
H28	生命の海科学館、竹島水族館（蒲郡市）
H29	のき山学校（北設楽郡東栄町）
H30	トヨタ博物館、愛・地球博記念公園（長久手市）
R1	横浜ゴム新城工場、鮎滝、鳳来寺山自然科学博物館（新城市）



鮎滝見学の様子

《市民環境講座》

市では、環境問題に取り組んでいる、若しくはこれから取り組もうとされているみなさんを対象に「環境活動に関する学習機会」を提供するために、平成16年度から毎年「市民環境講座」を開催しています。令和元年度の実績は次のとおりです。

◆11月30日（土）

「宇連ダムと大島ダムの見学」

独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部 宇連ダム、大島ダム

参加者18人

◆12月14日（土） 講師：新城市 生活環境課

「分別をしないとどうなるの？」

新城市クリーンセンター 参加者25人

《水生生物調査》

市では、市内小中学校の生徒や行政区と河川における水生生物調査活動を行っています。

ほぼ毎年、同じ地点の水生生物の調査をしますが、水質の状況を把握するとともに、地域の自然とふれあうことのできる良い機会となっています。また、地元の水生生物調査を実施することにより、地元の川を自分たちで守ろうという意識の高揚にもつながります。



◇水生生物調査実施の状況（令和元年度）

学校・団体名	河川名	実施日	参加人数
作手小学校	古宮川	6月11日（火）	25人
豊島区環境保全会	杉川	6月16日（日）	25人
千郷子育て連絡協議会	杉川	6月22日（土）	120人
東陽小学校	真立川	6月25日（火）	24人
東郷東小学校	五反田川	6月26日（水）	27人
八名小学校	堀切川	7月 3日（水）	47人
新城小学校（1）	田町川	7月 9日（火）	30人
新城小学校（2）	田町川	7月10日（水）	29人
舟着小学校	大入川	9月 4日（水）	15人
実施9回（6小学校・2団体）			計342人

《ごみに関する環境学習》

市では、ごみの出し方や分け方をはじめ、処理の方法などについて実際に現場を見学して理解してもらうことを目的に、市内小学校の4年生などを対象にごみに関する学習を実施しています。

◇ごみに関する学習会実施状況（令和元年度）

見学日	学校等名	見学施設			見学者数
		クリーンセンター	資源集積センター	鳥原埋立処分場	
5月 8日（水）	東郷東小学校	○	○	○	28人
5月13日（月）	八名小学校	○	○	○	26人
5月15日（水）	八名小学校	○	○	○	25人
5月16日（木）	庭野小学校	○	○	○	18人
5月21日（火）	鳳来中部小学校	○		○	27人
5月29日（水）	東郷西小学校	○	○	○	48人
5月31日（金）	黄柳川小学校	○	○	○	9人
6月 4日（火）	東陽小学校	○	○	○	22人
6月11日（火）	千郷小学校	○		○	42人
6月12日（水）	千郷小学校	○		○	41人
6月13日（木）	老人クラブ連合会	○	○	○	38人
6月14日（金）	作手小学校	○	○		16人
6月19日（水）	新城小学校	○	○	○	55人
6月26日（水）	舟着小学校	○	○	○	12人
実施14回（11小学校・1団体）					計407人



クリーンセンター、鳥原埋立処分場見学の様子

《上下水道に関する環境学習》

市では、子どもたちが上下水道に関する基礎知識を学ぶことにより、水環境に対する興味と関心をもってもらうことを目的に、市内小学校4年生を対象に上下水道講座（パワーポイントによる上下水道の基礎知識の学習および簡易急速ろ過実験）を実施しています。



◇上下水道に関する環境学習実施状況（令和元年度）

学校名	実施場所	実施日	参加人数
作手小学校	作手小学校	6月 4日（火）	15人
新城小学校	新城小学校	6月 5日（水）	50人
鳳来寺小学校	鳳来寺小学校	6月 6日（木）	10人
八名小学校	八名小学校	6月 7日（金）	47人
鳳来中部小学校	鳳来中部小学校	6月11日（火）	25人
東郷東小学校	東郷東小学校	6月12日（水）	28人
黄柳川小学校	黄柳川小学校	6月19日（水）	7人
庭野小学校	庭野小学校	6月25日（火）	15人
東郷西小学校	東郷西小学校	6月26日（水）	44人
東陽小学校	東陽小学校	6月28日（金）	20人
実施10回（10小学校・13クラス）			計261人

《環境ポスターコンクール》

市では、ごみの減量化・資源リサイクル・環境美化の意識を高揚し、環境問題に関心を持っていただくため、社会科の授業で「ごみ」について勉強している小学4年生を対象に、環境ポスターの募集を行っています。令和元年度は159点の作品が寄せられました。

◆金賞2名、銀賞3名、銅賞5名、入選10名



令和元年度金賞作品

2 歴史・文化

●歴史的・文化的環境の保全整備

【史跡、名勝、天然記念物や建造物の保持】

《環境整備の実施》

国指定史跡長篠城跡をはじめとした城跡や古墳等の史跡、県指定天然記念物長の山湿原や清岳向山湿原などの適正な環境維持を行うため、地元市民等の協力により草刈り等の環境整備を行いました。

◇指定文化財の状況

令和元年度末現在

	種別	名称	所在地	指定年月日
国指定文化財	建造物	東照宮	門谷	S28. 11. 14
		鳳来寺仁王門	門谷	S28. 11. 14
		望月家住宅	黒田	S49. 2. 5
	絵画	絹本著色三千仏名宝塔図	中宇利	H 6. 6. 28
	彫刻	木造薬師如来坐像	庭野	S 6. 12. 14
		木造阿弥陀如来坐像 附 木造観音菩薩坐像	巢山	S52. 6. 11
	無形民俗	三河の田楽	門谷・七郷一色	S53. 5. 22
	史跡	長篠城跡	長篠	S 4. 12. 17
	名勝	鳳来寺山	門谷	S 6. 7. 31
		阿寺の七滝	下吉田	S 9. 1. 22
	天然記念物	乳岩及び乳岩峡	川合	S 9. 1. 22
		馬背岩	豊岡	S 9. 5. 1
		黄柳野つげ自生地	黄柳野	S19. 3. 7
		甘泉寺のコウヤマキ	作手鴨ヶ谷	S47. 5. 26
国登録文化財	建造物	旧黄柳橋	乗本	H10. 9. 2
		瀧川家住宅主屋	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅長屋門	出沢	H17. 2. 28
		瀧川家住宅祠	出沢	H17. 2. 28
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）本館	大野	H21. 1. 8
		旧大野銀行（大野宿鳳来館）土蔵	大野	H21. 1. 8
		龍泉寺本堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺開山堂及び位牌堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺観音堂及び御茶堂	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺庫裏	出沢	H25. 12. 24
		龍泉寺鐘楼	出沢	H25. 12. 24
		八平神社本殿	出沢	H25. 12. 24
		八平神社玉垣	出沢	H25. 12. 24
		瀧神社本殿	大海	H25. 12. 24
		永住寺本堂	裏野	R1. 12. 5

	種別	名称	所在地	指定年月日
国登録文化財	建造物	永住寺開山堂及び位牌堂	裏野	R1. 12. 5
		永住寺庫裡及び書院	裏野	R1. 12. 5
		永住寺禅堂	裏野	R1. 12. 5
		永住寺衆寮	裏野	R1. 12. 5
		永住寺経蔵	裏野	R1. 12. 5
県指定文化財	絵画	甘泉寺の涅槃図	作手鴨ヶ谷	S47. 6. 7
	彫刻	木造十一面観音立像	杉山	S32. 1. 12
		木造不動明王立像	巢山	S53. 3. 15
		木造熊野三所懸仏	巢山	S54. 3. 22
	無形民俗	信玄原の火おんどり	竹広	S40. 5. 21
		乗本万灯	乗本	S51. 7. 14
		南設楽のほうか	大海・布里・一色 塩瀬・源氏・名号	S58. 9. 14
		設楽のしかうち行事	能登瀬	S58. 3. 7
	史跡	宇利城跡	中宇利	S32. 9. 6
		旗頭山尾根古墳群	八名井	S53. 5. 29
		断上山古墳9・10号墳	大宮	S53. 10. 16
	名勝	満光寺庭園	下吉田	S49. 7. 3
	天然記念物	須山のイヌツゲ	作手清岳	S29. 2. 5
		ムカデラン自生地	川合	S30. 5. 6
		ねずの樹	門谷	S30. 7. 1
		長ノ山湿原	作手岩波	S48. 11. 26
		中宇利丸山の蛇紋岩植生	中宇利	S55. 2. 12
市指定文化財	建造物	8	能舞台、満光寺の山門、薬師堂他	
	絵画	6	太田白雪画像、鳥居勝商磔殺の図他	
	彫刻	32	木造十一面観音立像、木造大日如来坐像、木造子安観音立像、石造庚申碑、木造神馬、石造閻魔大王他	
	工芸品	6	能装束・能面、鰐口、唐の頭、喚鐘、鉄砲、梵鐘	
	典籍	9	太田白雪自筆著書、太田白雪「きれぎれ」他	
	古文書	38	今川義元証文、今川氏真証文、菅沼家家譜、慶長9年検地帳、御觸書留帳（町役場日記）他	
	考古資料	8	鏡岩下遺跡出土品、大ノ木遺跡他遺跡他	
	歴史資料	1	吉田川井堰引船図 附 井堰御普請関係文書	
	無形	3	祭礼能、立物花火、鳳来寺硯製作	
	有形民俗	7	石座石、服部神社伝来赤引糸関係遺物他	
	無形民俗	13	新城歌舞伎、鍋づる万灯、名越神楽、天王祭他	
	史跡	64	黒瀬遺跡、摩訶戸古墳群、新城城跡、信玄塚、富賀寺中世墓地、芭蕉句碑、蟻塚、今水寺跡他	
	名勝	4	鳴沢の滝、桜淵、鮎滝、富賀寺庭園	
天然記念物	24	白鳥神社の大スギ、ヒメハルゼミ、中央構造線長篠露頭、見代のオハツキイチョウ他		

【歴史・文化の活用】

《歴史・文化関連施設》

「鳳来寺山自然科学博物館」

鳳来寺山自然科学博物館は、国指定の名勝天然記念物・鳳来寺山を中心に、自然の宝庫である東三河を研究するため昭和24年9月に結成された「東三河の地質と鉱物の会」が田口鉄道鳳来寺駅の公舎を改造して開館した、田口鉄道自然科学博物館が前身になります。

そして昭和38年4月26日、元鳳来寺村長で林業家の丸山喜兵衛氏の寄付により、日本初の二重展示方式を取り入れるなど全国的にも画期的な町立の自然科学博物館が建設されました。

各自然分野の専門家である学術委員による野外学習会などの教育普及活動は、開館時からたゆまず開催しています。また、展示においては、鳳来寺山をはじめとした当地域の地学、動植物などを幅広く展示しています。

また、県内最大規模の植物標本を収蔵するなど、自然資料の収集保存活動も行っています。



鳳来寺山自然科学博物館

「設楽原歴史資料館・長篠城址史跡保存館」

日本三大決戦の一つとされる長篠・設楽原の戦いは、織田・徳川連合軍が初めて新兵器鉄砲(火縄銃)を大量に使用し、その威力をまざまざと見せつけ、後の戦術に一大変革をもたらした日本史に残る著名な戦いです。設楽原歴史資料館、長篠城址史跡保存館には、戦国の分岐点を演じた「鉄砲の戦いー設楽原の決戦」にまつわる人、経緯、火縄銃の果たした役割・その歴史を展示しており、織田・徳川連合軍が陣地の前にめぐらした武田騎馬軍の進撃を防ぐための馬防柵も再現しています。

また、設楽原歴史資料館には、日本開国の基となった幕末の日米修好通商条約調印の立役者・岩瀬忠震についての資料も展示しています。



設楽原歴史資料館



長篠城址史跡保存館

「作手歴史民俗資料館」

作手高原には、「全国重要湿地 500」にも選定されている広大な湿地帯があり、人々は原始・古代から現代に至るまで、その湿地をたくみに利用してきました。

作手歴史民俗資料館には、こうした風土の中で育まれた人々の歴史、民俗や湿地についての資料が集められています。



作手歴史民俗資料館

《新城まちなか博物館》

新城まちなか博物館は、新城の風土の中で生まれた新しいタイプの博物館活動で、仕事場や生活の場がそのままミュージアムであるということです。

「まち」の活動や暮らしの工夫がそのまま博物館であり、生涯学習のキャンパスとなります。令和元年度末現在13館を指定しています。

◇新城まちなか博物館指定一覧（令和元年度末現在）

No.	博物館名	内 容
1	中西農村民具室	明治時代からの農村民具の展示
2	大原商家民具室	明治時代からの商家民具の展示
3	はたおり工房	たかばた高機（手織り機の一つ）によるはたおり機織り
4	馬場彫金工房	鋼板のレリーフ・器の展示
5	藍弘苑	本藍による絞り染め
6	出沢やままゆ養蚕所	やままゆ施設見学・養蚕体験
7	竹細工工房	虫かご・歴史的建造物の制作
8	寒峰窯（陶芸）	陶芸の見学・体験
9	イーハートーブ吉川（染色工房）	染め絵制作
10	竹工房・雅夢	竹細工
11	医王寺民俗資料館	農具、家庭用品、鉱物、岩石等の展示
12	皆集庵	登り窯の見学、陶芸体験
13	くらしの博物館	昔の庶民の生活用品の展示と解説



藍弘苑



はたおり工房



皆集庵



竹工房・雅夢

《姉妹都市交流事業》

姉妹提携先である知多郡東浦町との交流を図るため、毎年、新城市民を対象として「東浦町『^{おだい}於大まつり』の見学」と、東浦町民をお迎えする「新城市『^{おだい}鳳来寺山もみじまつり』の見学」事業を行っています。

東浦町との姉妹提携については、松平広忠公とその奥方『^{おだい}於大の方』が、良い世継ぎがほしいと鳳来寺の本尊・峯薬師如来に祈願され、そのご利益により徳川家康公を授かったと言われており、その縁で、旧鳳来町と東浦町は「都市近郊の町と山の町が産業・文化・伝統を通じて両町民が人間的ふれあいを高め、豊かで活力あるまちづくりを目指す」として、昭和61年6月1日に姉妹提携を行いました。その後、この姉妹提携は新城市に継承され、平成19年4月1日に「人と人のふれあいを通じて親善を深める」として継続されています。



3 交流

●環境交流

【自治体、NPO・NGO等との交流】

近隣自治体や同様の問題を抱えている自治体、NPO・NGO等との交流を深めることは、情報の共有化による取り組みの連携を図ることができるなどのメリットがあります。

《2019 消防防災フェスタ環境啓発イベント》

市民への環境啓発の一環として9月8日に開催された2019しんしろ消防防災フェスタにおいて、防災に関する環境の啓発活動を行いました。

《かんきょうの学校2019》

環境教育の一環として、11月23日（もみじまつり期間中）に旧門谷小学校において、市民の環境に関する意識の向上を図るため、環境に関する内容をテーマとしたイベントを実施しました。



間伐材を使って作成したペンダント
(2019 消防防災フェスタ環境啓発イベント)



かんきょうの学校 2019

《環境首都創造フォーラム、同コンテスト、中部環境先進5市》

市では、市民（NGO）の視点からの環境自治体づくり支援およびNGOと自治体さらには自治体間の環境問題に関する情報の相互交換の促進を目的とした「日本の環境首都コンテスト」に参加していました。コンテスト終了後も自治体の環境施策向上のため、自治体とネットワーク合同の研究会や職員研修、交流会が開催され、本市も参加しています。

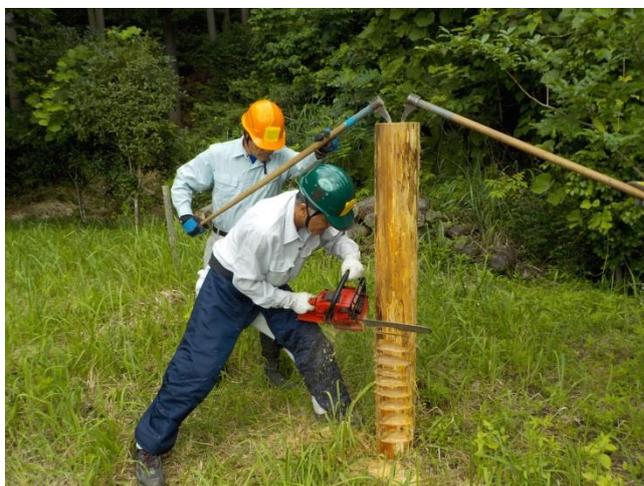
◇交流会開催状況（令和元年度）

区 分	実施日	開催場所
中部環境先進5市サミット	7月 5日（金）	新城市文化広場（新城市主催）
環境首都創造フォーラム・共同研修	1月16日（木）～ 17日（金）	京都府京都市 しんらん交流館

《市民の森づくり活動の促進》

森づくりに対する市民や流域の人々の理解を深める教育活動を、森と人が育つ「共育活動」として位置づけ、市民参加の森づくりを推進するための森林体験活動や教育・学習活動を積極的に推進します。

体験活動、教育・学習活動は、森林を知り、森林に近づき、森林の中に入るという初級段階から、森林管理に関する一般的な学習と下草刈りや枝打ち、間伐等の中級者向けの作業の段階、そして森林の多様な公益的機能を生かす健全な森林管理をめざす上級者向けの段階まで、段階的な人材育成の仕組みを充実させていきます。



こうした体験活動、教育・学習活動は、新城市に活動拠点を持つ森林NPOや森林ボランティアと協働で推進していきます。

令和元年度においては、初心者・中級者・上級者の講習会や学校、地域への出前講座を計12回開催し、子供から大人まで、市内外から225名の方が参加されました。